

議題： 日常的にマルチビタミンを摂取している女性で、乳がん発症が 19%増加したという研究報告

著者： Larsson SC, Akesson A, Bergkvist L, Wolk A

発表： Am J Clin Nutr. 2010 March

題名： マルチビタミン剤摂取と乳がん発症率：スウェーデン女性を対象にした予知的（前向き）コホート研究

発表日： 2010 年 3 月 24 日

結論：

35,329 名のスウェーデン女性を対象にしたマルチビタミン剤摂取と乳がん発症の関係を調査した予知的観察研究：スウェーデンマンモグラフィコホート研究（the Swedish Mammography Cohort）。マルチビタミン剤摂取およびその他の乳がんリスク因子に関するデータが、質問票への自己記入方式で集積された。これらのデータを解析した結果、平均 9.5 年のフォローアップ期間中に、マルチビタミン剤摂取によって乳がん発症が統計学的に有意な 19%の増加を示した。乳がんの多変量相対リスクでは、乳がんのホルモン受容体状態別での有意な差はなかった。

反論：

1. 既報の他の大規模研究では、マルチビタミン剤の日常的摂取とがん発症の増加を示す報告はない。68,132 名の女性を対象にした中間期間として 8 年のフォローアップ研究である WHI (The Women's Health Initiative) ⁱは、マルチビタミン剤摂取とがん発症リスクの間に多変量調整解析手法では相関性を示していない。2009 年に発表された集団を対象にした症例対照研究でもマルチビタミン剤摂取と乳がん発症リスクとの間に相関を示していないⁱⁱ。

また、37,920 名の米国女性を対象にした平均 10 年の米国におけるフォローアップ研究の結果でも同様の結果を示したⁱⁱⁱ。

2. 著者によると、マルチビタミン剤摂取が乳がん発症の増加原因であることは証明されていない。すなわち、研究によっては、いくつかの制限要因があり、摂取されたマルチビタミン剤の種類に関する詳細な情報は不明である。
また、マルチビタミン剤情報に関するデータを得るための自己記入質問票を使うことは、不正確な情報による解析の原因となる思い出しバイアスを起こしやすい。

3. 不健康な生活習慣や個人的素因など、女性で増加するがんリスクに影響するような多様な因子の組み合わせがあることが推定される。
4. 読者は、個人個人でリスクは小さく、マルチビタミン剤を摂取している女性の大部分は、がんを発症していないという研究者が強調した点を、認識しておくべきである。
5. マルチビタミン剤は、栄養バランスが悪い現代の日々の食事を補完できるものである。実証された科学の観点から言えば、健康的な生活習慣と食事を基本に、各栄養素（ビタミン）の安全な上限量以下の摂取量でマルチビタミン剤摂取は継続されるべきである。

2010 年 4 月 15 日

ⁱ Neuhouser ML, Wassertheil-smoller S, Thompson C, et al. Multivitamin use and risk of cancer and cardiovascular disease in the Women's Health Initiative cohorts. Archives of Internal Medicine 2009;169:294-304.

ⁱⁱ Meulepas JM, Newcomb PA, Burnett-Hartman AN, et al. Multivitamin supplement use and risk of invasive breast cancer. Public Health Nutrition 2009; Dec.3:1-6.

ⁱⁱⁱ Isitani K, Lin J, Manson JE, et al. A prospective study of multivitamin supplement use and risk of breast cancer. Am J Epidemiol. 2008; 167:1197-206.